

令和2年12月7日
国土交通省九州地方整備局
筑後川河川事務所

筑後川本格改修100周年記念ロゴマークを作成します

～九州大学芸術工学部による筑後川フィールドワークの開催～

令和5年に筑後川の本格的な河川改修が始まって100周年を迎えます。

筑後川河川事務所では、100周年を迎えるにあたり、筑後川の豊かな恵みに感謝し、先人の努力を讃えるとともに、筑後川が地域の皆様により深く理解され、美しい筑後川を未来につなげていくことを願って、今後、各種イベント・行事を通じて情報発信していくこととしていきます。

先だって100周年を多くの方々に知って頂き盛り上げてもらうため、インダストリアルデザインを学ばれている九州大学芸術工学部の学生の皆さんと共に、100周年記念ロゴマークを作成することとしました。

今回、ロゴマーク作成に向けて、筑後川に対するイメージを膨らませるため、九州大学芸術工学部の学生が筑後川を上流から下流まで視察するフィールドワークを行います。

<筑後川フィールドワーク>

1. 開催日

令和2年12月13日(日) 10:20～16:30(予定)

2. 場所

別紙1「スケジュール表」参照

3. 対象者

九州大学芸術工学部工業設計学科2年生約40名および数名の修士学生を対象

4. その他

- 取材を希望される報道機関におかれましては、12月10日までに別紙2の連絡先まで事前のご連絡願います。
- 参加者はマスク着用をお願いします。
- 当日、降雨などにより防災体制等に入った場合は中止することがあります。

問い合わせ先

筑後川河川事務所 調査課長 田脇 康信(内線351)
電話 0942-33-9131(代表)

筑後川改修の沿革

1884年（明治17年）	内務省 筑後川出張所 開設
1886年（明治20年）	第一期改修工事着手 舟運を目的とした低水工事
1888年（明治22年）	明治22年7月の大洪水
1895年（明治29年）	第二期改修工事着手 洪水防御を目的とした高水工事
1921年（大正10年）	大正10年6月の大洪水
1923年（大正12年）	内務省 筑後川改修事務所 開設 第三期改修工事着手 本格的な河川改修のはじまり 捷水路の開削・連続堤の整備・支川の改修着手 等
1948年（昭和23年）	建設省 筑後川工事事務所 名称変更
2001年（平成13年）	国土交通省 筑後川工事事務所 名称変更
2003年（平成15年）	国土交通省 筑後川河川事務所 名称変更
2023年（令和5年）	事務所が開設され、本格的な河川改修が始まって100年目

100周年ロゴマーク作成までのスケジュール（予定）

令和2年	11月26日（木）	学生への筑後川のレクチャー（済）
令和2年	12月13日（日）	筑後川のフィールドワーク（今回）
令和3年	1月7日（木）	筑後川流域住民（5名程度）との意見交換
令和3年	1月～3月	アイデア展開 ↓ 提案書の作成 ↓ プレゼンテーション ↓ ロゴマーク案決定



11月26日（木）九州大学でのレクチャーの様子

「筑後川フィールドワーク」 スケジュール表

番号	見学箇所	時刻		
①	三川分派（筑後川河川事務所日田出張所） （大分県日田市中ノ島町）	10:20	～	10:40
②	山田堰 （福岡県朝倉市山田）	11:30	～	11:50
③	原鶴 （福岡県朝倉市杷木志波）	12:00	～	12:15
④	三連水車の里あさくら（昼食含む） （福岡県朝倉市山田）	12:25	～	13:10
⑤	寺内ダム （福岡県朝倉市荷原）	13:35	～	13:55
⑥	水天宮 （福岡県久留米市瀬下町）	14:55	～	15:15
⑦	昇開橋・デレーケ堤 （福岡県大川市向島）	15:55	～	16:25

※見学時間は当日の交通事情等により前後する可能性があります。

※詳しい見学箇所・駐車箇所については、事前登録を受けて別途連絡いたします。

「筑後川フィールドワーク」 取材登録

「筑後川フィールドワーク」について、取材をご希望される報道機関におかれましては、事前にご登録のご協力をお願いいたします。

メール送信期限： 12月10日（木）12時00分まで

送信先アドレス： qsr-chikugo-hp@mlit.go.jp

【ご登録の際にご連絡いただく内容】

1. 報道機関名

2. 取材者等

①ご氏名 ②連絡先（電話番号） ③取材人数 ④取材車両の種類等

3. 取材箇所

別紙1の「スケジュール表」を参照し取材を行う箇所をご連絡願います。

※詳しい見学箇所・駐車箇所については、事前登録を受けて別途連絡いたします。